

# 「深い学び」を具現する授業デザイン例 社会（小）

## 学習指導要領における領域・内容

小学校 〔第4学年〕

- (1) ア (ア) 自分たちの県の地理的環境の概要を理解すること。また、47都道府県の名称と位置を理解すること。  
 イ (ア) 我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現すること。

## 本時のねらい

福島県中通り地方・会津地方の桜の開花が「北から南」に広がる理由を話し合う活動を通して、県全体の地形に着目しながら県の地理的環境の特色を考え、表現することができる。

授業デザイン例	学習者の視点	授業者の視点
<p>福島県は日本の南の方と比べて、桜が咲くのが遅いね。</p> <p>確かに日本全体を見ると南から桜が咲いているね。南の方が、気温が高いからかな。</p> <p>でも「資料1」を見ると福島県は北から南に向かって桜が咲いている地域があるよ。どうしてだろう？</p> <p>(桃子さん)</p>	<p><b>資料1</b></p> <p>(福島県統計課のホームページより)</p>	<p>これらは、日本全体の桜の開花時期と福島県内の桜の開花時期を示した地図です。</p> <p>※ 授業デザイン例上は県内の地図のみを記載</p> <p>桃子さん、よく気がきましたね。みなさん、桃子さんの伝えたいことが分かりますか。</p>
<p>④ どうして福島県の中通りと会津地方は北から南に向かって桜が咲くのかな？</p>		<p>まずは、自分の考え（予想）を書いてみましょう。</p>
<p>【その後の話し合い例】</p>		
<p>2022年の年間平均気温（「気象庁」ホームページ）を比べてみると、福島市は13.9℃、白河市は12.4℃だよ。</p> <p>他の年の平均気温も2℃ぐらい福島市が高いね。</p>		<p>でも、どうして福島市よりも南側にあるのに、白河市の気温の方が低いのでしょうか？</p> <p><b>視点O</b></p>
<p>確かに。それを説明できる資料が何かあれば・・・</p>	<p><b>視点⑩</b></p>	
<p>地形図を見ると、中通りは福島市より白河市の方が高い場所にある。山登りしたとき頂上が寒いのと関係あるかも。</p>		<p>市の位置や県の地形に着目して桜の咲く時期と関連付けている考え方、すばらしいですね。気象予報士の大堀さんにインタビューした映像を見てみましょう。</p>
<p>会津地方も北側より南側の方が高いことが分かるよ。</p>		
<p>県の地形と気温、桜の咲く時期は何か関係がありそうだ。</p>		
<p>大堀さんのお話とみんなで話し合ったことがつながってきたぞ。</p>		<p><b>資料2</b> 【気象予報士の大堀さんのお話】                  福島県は、大きく3つの地方に分けられます。その地方の中でも位置だけではなく、標高や地形によって桜の咲く時期は変わってきます。私は他県出身ですが、福島県はそれぞれの地方に大きな特徴があります。調べてみると、多くの発見があると思いますよ。</p>
<p>③ 福島県の中通りと会津地方は、南より北の方の土地が低い。そのため、南より北の気温が高く、北から桜がさきはじめる。</p>		<p><b>視点K</b></p>
<p>福島県の地形図を見たり、友だちの考えや大堀さんのお話を聞いたりして、桜が北から南にさく理由が分かりました。これから自分の住む浜通り以外の地いきの生活についてもっと調べてみたいです。（子どもの「振り返り」より）</p>	<p><b>視点⑤</b></p>	<p>次の授業では、福島県についてもっと調べたいことをみんなで整理していきましょう。</p>
<p>本時における「深い学び」を具現する仕掛けや発問</p>		
<p>□ 本時は単元の導入部分における1単位時間を想定している。資料を比較する活動から子どもの「問い」を引き出し、全体で共有する。位置や空間的な広がり（地図や等高線等）、事象同士の相互関係（桜の開花時期と年間平均気温等）に着目し、それらを比較したり、関連付けたりする話し合いを通して、県の様子や地理的環境の特色を捉え、次時における単元の学習問題をつくる活動につなげることができるようにする。（視点O→視点⑩、視点K→視点⑤）</p>		